

迅速・安全・的確 消防活動の基本技術を競う



第34回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

6月29日(日)、時折夏の日差しが照りつける中、日野川ダムグラウンドにて「第34回日野町消防団ポンプ操法訓練大会」が開催されました。

この大会は、消防技術の向上と消防団員の士気の高揚を目的に毎年この時期に開催され、迅速、安全、的確に消防ポンプなどを扱う消防活動を行うための基本技術を競い合います。

消防団員の皆さんは、優勝をめざし約1か月間、早朝訓練に励んでこられました。本番では、チーム全員が心をひとつにして訓練の成果を発揮し、見事なポンプ操法を披露されました。出場されたどのチームも操法終了後はやり遂げた満足感、充実感でいっぱいの様子でした。

この大会を通して得た操法技術と団員同士の団結は今後地域の防災活動に活かされることでしょう。

なお、結果は左記のとおりです。優勝チームの皆さん、おめでとうございます。また出場された消防団員の皆さん、お疲れさまでした。

第34回日野町消防団 ポンプ操法訓練 大会結果

●小型ポンプの部

優勝 第3分団B

高木大輔さん 清谷宗幸さん
木村健志さん 堀 泰隆さん

●ポンプ車の部

優勝 第3分団

三添 泰さん 奥井基文さん
藤崎朋彦さん 吉村慎太郎さん
吉澤範文さん



ポンプ車の部 優勝 第3分団



小型ポンプの部 優勝 第3分団B

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

8月盛夏、原発

稼働ゼロの夏。再
生可能エネルギー
の拡大とともに節
電も大切です。滋
賀県庁で盆の集中
休暇が実施された
のは30数年前。節
電と職員の元気回

復のため全国に先駆けて実施した
のは武村正義知事。武村氏は、昭
和49年12月に滋賀県知事に就任。

当時、県政と建設業者が癒着する
「黒い霧」があり、こうした県政
を変えようと革新政党(社会党、
共産党)と労働4団体などが武村

氏を擁立し当選されました。そし
て、びわこ文化ゾーンの「土地こ

ろがし事件」が明るみに出ました。
建設業者が土地を何回も転売し最
後に滋賀県土地開発公社に高値で

購入させ、県に膨大な損害をもた
らした汚職事件です。それまで知

事室のある県庁3階の総務部(秘
書課、人事課、財政課、地方課など)
は、「松の廊下」(忠臣蔵で浅野内

匠頭が刃傷におよんだ江戸城の松
の廊下＝権力の中枢)と揶揄され
るなど権力化していました。県庁
の先輩から、「職場が権力化すれ

ば県政が歪む」と民主的な職場の
大切さを何度も聞かされました。

8年前の知事選挙は、栗東新幹
線新駅建設ストップの県民世論を
うけて嘉田氏が当選されました。

今回の知事選挙は「草の根自治」
を掲げる三日月氏が当選されまし
た。選挙戦の「潮目」を変えたの
は7月1日の「集団的自衛権行使

容認の閣議決定」と言われていま
す。日本が攻撃されたときに防戦
するのは「個別的自衛権」であり、

「集団的自衛権」は日本が攻撃さ
れていないのに他国の戦争に参加
することであり、これまでの憲法

解釈では許されないこととされて
きました。長年定着してきた憲法
解釈を勝手に解釈変更することは

立憲主義に反するものであり、多
くのマスコミも日本弁護士連合会
など法曹関係者も明確に反対して

います。

8月はヒロシマ、ナガサキとし
て終戦記念日、先の戦争を反省し
平和への誓いを新たにす月で

す。今このときが「戦前」となら
ないように、そして、自由と平和
を愛する文化国家を築くために力
を合わせましょう。